



RIKKYO ADVERTISING CLUB OB SOCIETY

立教大学広告研究会OB会報

<http://rikkyo-ad-ob.jp>

Vol.32

発行所 立教大学広告研究会OB会
〒104-0061 東京都中央区銀座8-14-5
TEL (03) 3541-5405発行人 佐藤 弘美
編集人 黒岩 俊隆平成22年(2010年)10月発行
第32号(毎年2回発行)

平成22年4月24日(土)午後6時より立教大学第一学食にて平成22年度のOB総会がOB32名と顧問の林先生を迎えて開催されました。本年は役員改選の年に当たり、全会一致で佐藤弘美会長を再選、顧問の林先生を迎え、開催されました。

新役員としてS48・小林春代、S49・杉本誠三、S50・山内信明、S51・松川哲夫、S52・相馬邦夫の5名の方々が選出されました。その後21年度事業報告、会計報告、

平成22年度 広告研究会OB総会開催
佐藤弘美会長を再選、5名の新役員を選出

第2回オータムフェスティバル開催!

日 時：11月26日(金) 6時受付開始
6時半開宴
会 場：立教大学第一学食
会 費：5,000円

緊急広告

2010: Autumn Festival MANIFESTO

オータムフェスティバルって何なの?、現役とOBとの親睦会?で、何かヤルの?、アナタね、中身なんて、ほとんどナンモ考えないでチョク参加するのが、広研子の真骨頂デショ。ただ、もう、ジェネレーションギャップを楽しみましょう、ということ。そして、お楽しみは久しぶりにアイツラと再会する同期の二次会ですかね。そこで、若手OBの皆さん、「ちょっと不安」に「OB党マニフェスト」が、お約束します。一次会のフェスティバル参加後、二次会を举行する方たちには「若手OBおとな手当」を確実に支給します!。このマニフェストはブレません!(財源はムリに推察推問しないでください。OB党が分裂してしまいますのでね)。そんなことですから、当日は安心して私にご相談ください。きっと楽しく思い出深い親睦会、二次会になること必定よ。では、ね。

OB会・オータムフェスティバル実行幹事長：
斎谷マカセナサイ和代(S45)

ホームページが新たに、パワーアップ!

<http://rikkyo-ad-ob.jp>

OB会の活動をスピーディに掲載
親睦の会(趣味の会)の開催告知、会員募集も随時紹介
ミニOB会の情報も満載!

OBの皆さんからの情報を掲載します。
会員の皆様のお便りをお待ちしております
メールアドレス administrator@rikkyo-ad-ob.jp

【お知らせ】

MEMBER専用ページがいよいよ開設されます
ユーザー名 rikkyo-ad-ob
パスワード koken007

[ホームページのTOPページ]

RAD 立教大学広告研究会OB会

mail

TOP OB会について OB会の活動 現役の活動 NEWS



RIKKYO ADVERTISEMENT OB CLUB

OB会掲示板

MEMBER専用ページ

メールアドレス
Copyright © RAD All Rights Reserved.

年会費3,000円の振込み先:みずほ銀行銀座中央支店 店番号 125 普通預金口座番号 1869599 立教大学広告研究会OB会



●第57回キャンプアフェスティバルでのミスコン候補のお披露目

7月17日に開店したキャンプスニアも、8月27日に無事閉店を迎えました。特に大きな事故やトラブルもなく無事に終えることが出来たのもご協賛いただきました。またOBの方々にご来店していただきまし。お忙しい中、本当にありがとうございます。

■キャンプストア

現役便り



●同じくミスター競争の候補者お披露目

【チケット・500円】
お申し込み、お問い合わせ
080-6627-5116
kishibe57@yahoo.co.jp
<第26回ミスター立教コンテスト
トプロトコーサー 岸辺優成>

さて、今年私達は「笑顔」をテーマにキャンプストアの活動に取り組みました。来ていただいたお客様に笑顔になつてもらいたい、また来たいと思えるようなお店づくりを指しました。また、今年は研究局活動や作品を紹介したギャラリーを設け、研究局で考案したオリジナルドリンクを販売し、好評をいただきました。店内には前期の研究局の活動や作品を紹介したギャラリーを設け、研究局で考案したオリジナルドリンクを販売し、好評をいたしました。店内には前期の研究局の活動や作品を紹介したギャラリーを設け、研究局で考案したオリジナルドリンクを販売し、好評をいたしました。

たきました。ミスコンにおきましても8月15日に行いましたキャンプストアフェスティバルにてミスコン候補のお披露目を行い、地元新聞にも取り上げられました。だきました。ミスコンにおきましても8月15日に行いましたキャンプストアフェスティバルにてミスコン候補のお披露目を行いました。OBの皆様とのつながりの大切さを実感いたしました。これからもキャンプストアをよろしくお願いいたします。

【第57回店長 鈴木真太郎】

すべての活動を通して、改めてOBの皆様とのつながりの大切さを実感いたしました。これからもキャンプストアをよろしくお願ひいたします。

【ミスミスター立教コンテスト】

第26回ミス・ミスター立教コンテスト開催のお知らせ

今年度も学園祭時にミス・ミスター立教コンテストを開催致しました。毎年御好評を頂いており、会員が日々の研究の成果をお見せする場でもあります。お忙しいとは存じますが、御家族・御友人お誘い合わせの上、ご来場頂ければ幸いであります。

【日時】10月31日(日)11:15開場

【場所】池袋キャンパス内タッカホール

【主催】仁科講座(マーケティング)

【協賛】CCD/DG&Ibexカンパニー

【司会】二瀬レジデンント

【司会】研究会では第18代委員長であつた、鶴久均様が務めて下さいました。また「広告講座(マーケティング)」は、株式会社博報堂マーケティングセンター、セントラルガレージ 上級執行役員

【司会】CCD/DG&Ibexカンパニー

【司会】二瀬レジデンント

【司会】研究会では第18代委



●学生時代と変わらぬ柔軟な表情でインタビューに答える成田氏

1994年に成田惣菜研究所を設立しました。今は3分の1がメカニカルさんへのコンサルティング、3分の1がセミナー講師、あと3分の1がセミナー講師を使つてみたのもぼくです。

もともと実家は西巣鴨の鮮魚商から食品スーパーとなつたお店でしたからごく自然にこの業界に入りました。母が料理人でしたから気がついた時は、お正月のきんとや喫茶店など三店舗を経営していました。今では当たり前ですけどキヤンストでコーヒー・マシンを使つてみたのもぼくです。

の3分の1が個人指導です。メカニカルとの仕事の一つに商品開発があります。勿論、厨房設備は店にありますからサンプルを持ち込まれ「これを何とか商品にしてくれ」と依頼され、例えばニチレイさんのオーブンントースターで焼くエビフライを開発して世に出したりしました。メカニカルさんは規模は大きいですが末端とはギヤップがあつて家庭ではこう作るのですと言つてもピンとこない。たまたまその末端と橋渡しのできるポジションにいたことが今に繋がっています。

メカニカルさんの開発で一番ヒットしたのがアセロラドリンクですね。当初はゼリー・ジャムに地下や弁当など食が注目されて話題性が大きくなつたせいか、なおさら忙しいですね。

今回は昭和48年卒の成田廣文さんにご登場頂きました。成田さんは現役時代キャンプストアの副店長を勤められ、卒業後は「お惣菜」という分野にいち早く着目し、「手作り」「美味しい」にこだわったノウハウは、全国スーパーなどから問い合わせが殺到。いまやコンサルティング業務や企業の商品開発など幅広く活躍している中にはそのお弁当を食べた方もいらっしゃるでしょう。その活躍ぶりはテレビ、フード関係の雑誌にも紹介され、また著書「独立するなら惣菜店」も版を重ねております。

惣菜分野に入ったきっかけは?

成田惣菜研究所 所長 成田廣文氏(48年卒)

経済界で活躍するOBインタビュー⑤



●西巣鴨・「なりたや」

出張が多いのですか?

惣菜として、何が美味しいのかは小さいときから培われてくるもので、本来口に入れた瞬間に美味しいといふことだけでは無くすべて食べ終わってからの満足感が日本人にとっての美味しいのです。ハンバーガーなどのファーストフードを食べると最初は美味しいけれどその後うち飽きてしまう、今の子供たちは舌がそれに馴らされてしまつて、食べ物がエサ化しているのです。

これから一番大変なのは20代の子供たちが、親からこれまで続いきた食生活を受け継いでいる、お惣菜という家庭料理のベスがどんどん壊されていることだと思います。

大盛況の講演会

9月4日(土)東京公演初日の昼の部を19名で鑑賞しました。参加者は、OBの中にプロの陶芸家、市川氏がいらしたという幸運と、しかも広研OBだけの教室を開いてくださいました。氏のご厚意によるものです。

尚、11名の会心の作は、オータムフェスティバルで展示いたしますので、是非ご覧ください。

次回の教室開催は来年1月に予定しております。日時等決まり次第、ホームページでご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

幹事:小林 春代(昭和48年卒)

9月4日(土)東京公演初日の昼の部を19名で鑑賞しました。参加者は、OBの中にプロの陶芸家、市川氏がいらしたという幸運と、しかも広研OBだけの教室を開いてくださいました。氏のご厚意によるものです。

尚、11名の会心の作は、オータムフェスティバルで展示いたしますので、是非ご覧ください。

次回の教室開催は来年1月に予定しております。日時等決まり次第、ホームページでご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

幹事:小林 春代(昭和48年卒)



●楽しさの中にも真剣に土をこね制作に励む各氏



●吉田義次さん
の解説

45年卒の現代美術作家、杉本博司さんが来春1月オープンの神奈川芸術劇場で、3月23日(水)~27日(日)、「文楽・曾根崎心中」を制作演出し、上演することが決定しました。現在公演されている「曾根崎心中」は、昭和30年に250年ぶりに現代風に復活されたもので、今回は元禄年間初演当初の、近松門左衛門の原文を忠実に再現する構成となっています。作曲/演奏は三味線の鶴澤清治さん(人間国宝)。人形は吉田義助さん(人間国宝)という豪華な組み合わせです。また、杉本さんは舞台空間で映像を駆使し、今までにない文楽の見せ方に挑戦します。

チケット情報: S席5700円 A席4200円 B席3000円
5日間10公演[23年3月23日(水)~27日(金)]
申込先:チケット神奈川 045-662-8866
インターネット申込: <http://www.kaat.jp/>



■ 次回観賞会ご案内
毎年12月の東京公演は、「文楽鑑賞教室」と題して、短い時間(2時間半)と手頃な料金(￥3,600)、そして分かりやすい演目で人気があります。今回の出し物は「伊達娘のこ」(ご存知、八百屋お七)。愛のため死罪覚悟のご法度やぐらのぼり、半鐘打ちがクライマックスの妖しくも美しい場面有名です。

9月4日(土)東京公演初日の昼の部を19名で鑑賞しました。参加者は、勝呂哲郎(S31卒)、藤谷和代夫人、平井喜美子/夫妻(S45卒)、箕輪正則(S47卒)、柴田健/橋幸治、岸秀雄、杉本誠三、古山滋夫、小林春代/友人(S48卒)、石橋幸治、岸秀雄、杉本誠三、古山滋子、瀬戸口雅之、佐藤真知子、草野発光(S49卒)、山内信明(S50卒)、小沢香保里(S51卒)。

当日の演目は、歌舞伎では二月堂で有名な「良弁杉由来(ろうべんすきのゆらい)」、ハンカチ必携の母子の生き別れ再会もの。そして注目は三島由紀夫作「觸壳恋鬼網(いわしうりこいのひきあみ)」。

9月4日(土)東京公演初日の昼の部を19名で鑑賞しました。参加者は、OBの中にプロの陶芸家、市川氏がいらしたという幸運と、しかも広研OBだけの教室を開いてくださいました。氏のご厚意によるものです。

今回、陶芸趣味の会が実現できたのは、OBの中にプロの陶芸家、市川氏がいらしたという幸運と、しかも広研OBだけの教室を開いてくださいました。参加者は昭和41年卒から52年卒までの11名。ほとんどの人が初心者なので、陶芸というより土遊びといった様子でしたが、市川先生の懇切丁寧なおしかった事! 年齢や職業に関係なく同じ体験を通しての親睦は楽しそも一入でした。

第一回陶芸体験教室が9月12日に陶芸家 市川正人氏(昭和43年卒)広研OBの新大久保にある工房で開催されました。参加者は昭和41年卒から52年卒までの11名。

市川氏がいらしたという幸運と、おいかつた事! 年齢や職業に関係なく同じ体験を通しての親睦は楽し